

保土ヶ谷支援学校



ICT だより

令和6年7月発行 vol.1
発行 教育支援グループ
情報教育班

「ICT だより」では保土ヶ谷支援学校での ICT 機器を活用した授業の紹介やご家庭で活用できるアプリ、情報モラル等について保護者の皆様にお伝えしていきます。今年度も定期的に発行を予定しております。ぜひ、ご覧ください。今回は、スマートフォンの使用時間についてです。

～スマートフォンの使用時間について～

スマホの使い過ぎを見える化してみましょう！

「スマホの使い過ぎ」が問題化しています。児童生徒に質問すると「使いすぎは良くない!」と答えることは多いですが、自分が使い過ぎているという意識は低めな傾向にあります。そこで、実際にどれくらい使っているのか見える化してみましょう!実際の使用時間が数値で出ることで、自分がどれくらい使い過ぎているのか気づききっかけになるかもしれません。

具体的な方法ですが、iPhone は「設定」から「スクリーンタイム」、Android は「設定」から「Digital Wellbeing」という項目をタップすると見ることができます。この数値を見て、使用時間を減らすにはどのようにすれば良いか話し合うのも良いと思います。保護者の皆様も一度ご自分のスマホで確認してみて、もし使い過ぎていると感じたなら、お子様と一緒に使い方を考えるのも良いと思います!



ICT 活用実践① 小学部

小学部では、iPad の「UD 手書き」というアプリを使用して、名前のなぞり書きに取り組んでいます。間違えてもタッチ一つで書き直すことができるので、繰り返し練習することができます。また、書いたものは写真に撮って残すことができるので、取り組みの成果を写真で振り返り、上手になった部分や重点的に練習する部分を確認し、次の学習につなげています。



ICT 活用実践② 中学部

中学部では、keynote (iPad アプリ) を使用して朝の会や帰りの会を行っています。iPad が使えることで、日直のモチベーションになっています。画面をタップすると、次のページに進むと同時に効果音が流れ、日直ではない生徒も注目するきっかけになっています。



ICT 活用実践③ 横浜平沼分教室

一人一台「Chrome book(Google 製のノートパソコン)」が使用できるようになったことで、インターネットやマップアプリを使用した調べ学習、文書作成やプレゼンテーションアプリを使用した資料作りの学習に役立っています。

「Classroom」というアプリを用いることで、授業に関するメッセージやデータのやりとりがスムーズに行えるようになり、情報モラルの学習や、報告、連絡、相談の練習にもつながっています。

